

## ロシア極東研 2 月研究会

共催：NPO法人ロシア極東研・北海道大学農学部食料農業市場学研究室

### 演 題

# 日本農地改革 70 年と「ソ連は農業がアキレス腱」論争

## — 「立役者」・合衆国農務省W・ラデジンスキーの もうひとつの功績 —

コロナ禍で、自然と共生する小農家族経営の役割が改めて注目される。

日本の農地改革が成功裏に進捗していた70年前、スターリンの晩年に、英米誌上で、小農家族経営の世界史的運命に関わる「ソ連は農業がアキレス腱」論争が繰り広げられていた。

小論は、日本の農地改革の立役者といわれるラデジンスキー（1899 ウクライナ生れ、1975 没）が、この「アキレス腱」論争にも浅からぬ縁があった経緯に着目する。



Ladejinsky (1952)

報告者： 佐々木 洋（本会会員）

司 会： 坂下 明彦（北海道大学名誉教授・北海道地域農業研究所長）

日 時： 2021年2月20日(土)午後1時30分～3時30分（参加費無料）

会 場： 北海道大学農学部S11教室（会場参加は 10名 限定、密防止）、

オンライン同時開催（会場参加とオンライン参加申込は、2月18日(木)までに）

申込み・問合せ先： ロシア極東研(佐々木洋) メールアドレス：

[mysasaki@jcom.home.ne.jp](mailto:mysasaki@jcom.home.ne.jp) 又は、 ☎ 011-561-0258